

第5回 佐久市臼田地区生涯活躍のまち事業化検討委員会

地域局 地域整備室



1. 国の動向

「生涯活躍のまち（日本版CCRC）」構想は、「東京圏をはじめとする地域の中高齢者が、希望に応じ地方や「まちなか」に移り住み、多世代の地域住民と交流しながら健康でアクティブな生活を送り、必要に応じて医療・介護を受けることができるような地域づくり」を目指すものであり、構想の主な意義としては、①中高年齢者の希望の実現、②地方へのひとの流れの推進、③東京圏の高齢化問題への対応、の3つの点があげられます。

この「生涯活躍のまち」構想の推進のため、国は平成27年2月より「**日本版CCRC 構想有識者会議**」を開催し、同年12月に「**最終報告**」が取りまとめられました。

また、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」において、平成28年4月改正地域再生法に生涯活躍のまちの制度化のための措置が盛り込まれました。

2. 佐久市の取組み

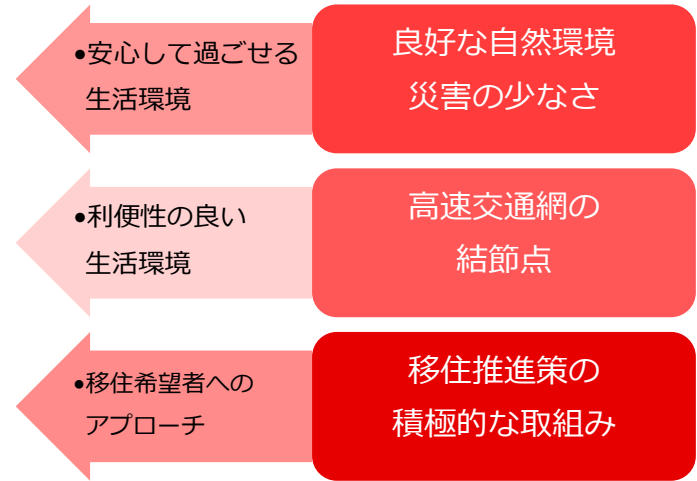
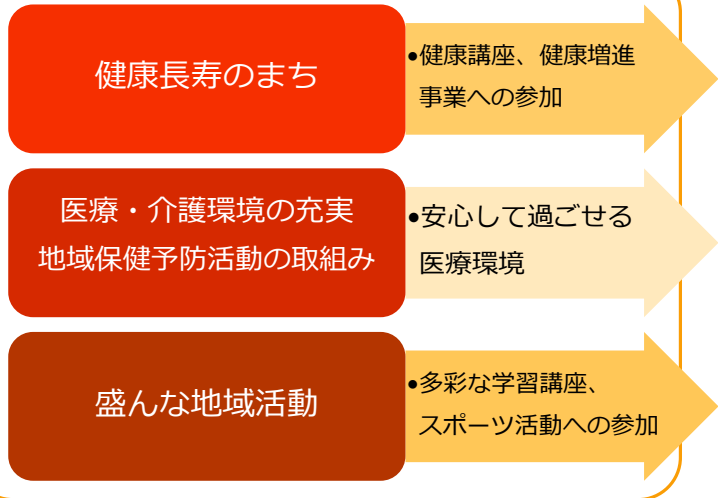
国は「まち・ひと・しごと創生」において生涯活躍のまち構想を進めるとし、サービスの受け手として「受け身的な存在」であった高齢者が、仕事や社会活動、生涯学習などの活動に積極的に参加する「主体的な存在」として位置づけられました。

このような中、佐久市においても急速な人口減少に対応するため、本市に「しごと」をつくり、「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を呼び込む好循環を支える「まち」に活力を取り戻すことで、**住民が自分の住む地域に誇りを持ちながら安心して生活し、子どもを産み育てられる社会を作り出そう**と考えました。

については、**生涯活躍のまち構想の導入**に積極的に取り組むこととし、さらなる移住促進を図るとともに、住民が主体性・自主性をもち、当事者として自ら行動することで元気で活力あるコミュニティの形成を図ることとしました。

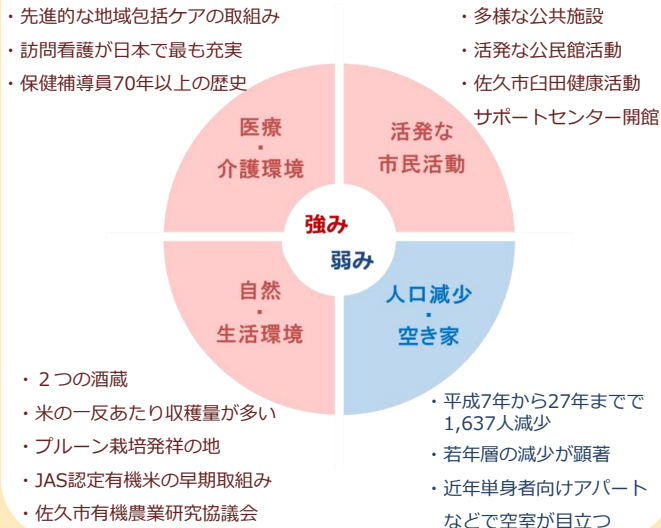
佐久市の持つ地域特性

世界最高健康都市構想の推進



佐久市の特性を活かし、地域の病院を中心とした医療連携・健康づくり推進型生涯活躍のまち

臼田地区の特徴



キャッチフレーズ



1.「愛され」 2.「褒められ」
3.「期待され」 4.「期待に応える」
幸福のサイクルを実現していくまちを！

推進体制



生涯活躍のまち形成支援チームに選定

先行事例の課題・ニーズ等の内容を掘り下げ、「生涯活躍のまち」に関する施策の在り方等について具体的・実務的な検討を行うため、生涯活躍のまち形成支援チームの下にワーキングチームを設置。

支援チームが支援を行う生涯活躍のまちの取組が先行している7団体のうちの1つに選定。

※その他は岩手県雫石町、新潟県南魚沼市、石川県輪島市、山梨県都留市、鳥取県南部町、福岡県北九州市の全7団体

生涯活躍のまち形成支援チーム
チームリーダー：

内閣官房まち・ひと・しごと
創生本部事務局地方創生総括官

副チームリーダー：

内閣官房まち・ひと・しごと
創生本部事務局 次長

構成員：

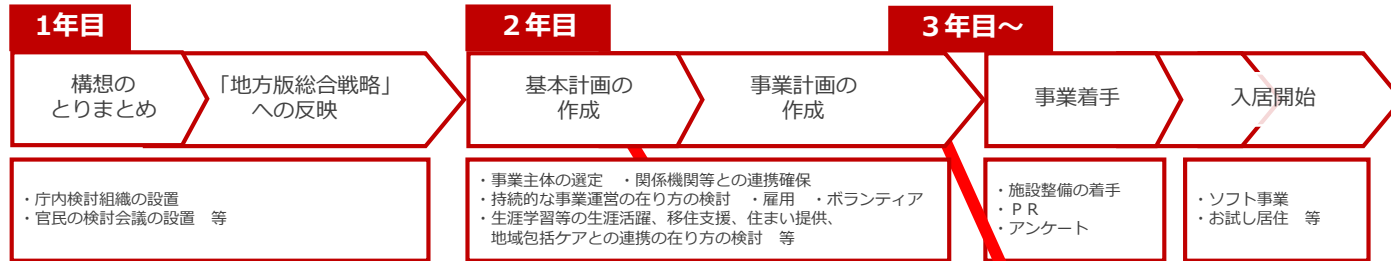
内閣官房 まち・ひと・しごと
創生本部事務局

内閣府 地方創生推進事務局

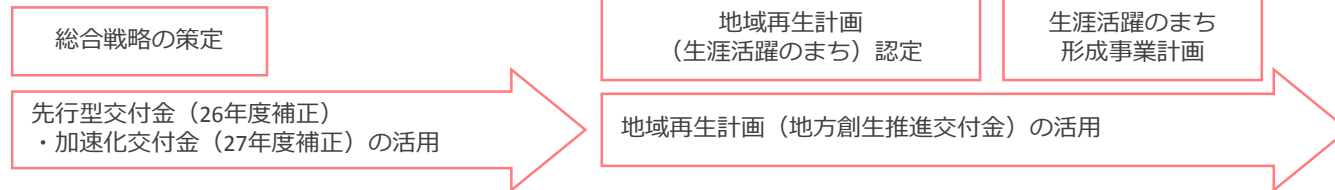
文部科学省、厚生労働省、国土交通省

進め方イメージ

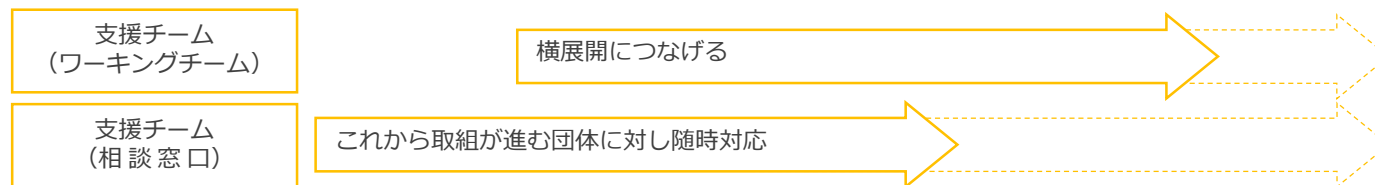
地方公共団体



地方版総合戦略・地域再生法



生涯活躍のまち形成支援チーム



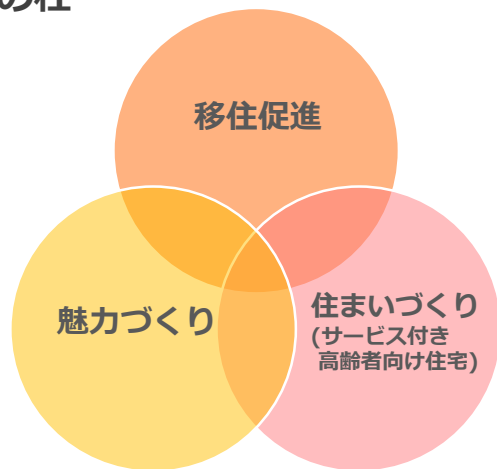
地域再生計画の認定について

「臼田地区生涯活躍のまち計画」

平成28年8月30日付で「生涯活躍のまち形成事業」に取り組む自治体の地域再生計画について、内閣総理大臣による認定（10件）。平成28年4月20日に施行された改正地域再生法に基づく初めての認定。

臼田のまちづくり

生涯活躍のまち取り組みの全体像 3つの柱



佐久市生涯活躍のまちは、「魅力づくり」「移住促進」「住まいづくり」の3つの柱から事業を推進します。

すでに臼田地区で取り組んでいる事業を踏まえ、生涯活躍のまち実現に向け必要な取り組みを実施します。活躍できる場、生活しやすい場をつくることでまちの魅力づくりを進め、また、首都圏では生涯活躍のまち移住促進センター等を拠点として情報発信するとともに、臼田地区でのお試しツアーを開催する等、積極的に移住促進に取り組みます。そして、サービス付き高齢者向け住宅を中心とした住まいづくりを進めることにより、移住者のみならず地域のすべての住民が交流し、助け合うことができる魅力にあふれた「まちづくり」を実現しようと考えています。

「移住者のためのまちづくり」によって移住を進めるのではなく、
地域住民が生まれてから最期までほのぼのとした幸せを感じられる
「生涯活躍のまちづくり」を——

そのために、都市機能が集積した臼田地区において
地域住民との協働により持続可能なまちをつくりあげる





魅力づくり ～地域での活動の担い手、働き手の確保～

【例】お弁当づくり



【例】高齢者が講師の編み物教室



活躍できる場、生活しやすい場



高齢者が
運転手になり送迎

- ・働く場

店舗
飲食店など

- ・買い物等
- ・働く場
- ・ボランティア

空き店舗

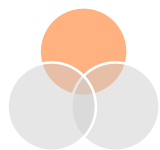
- ・働く場
- ・ボランティア

地域交流拠点施設

- ・地域コミュニティの場
- ・多世代交流
- ・講座・勉強会
- ・サークル活動

地域包括ケアの構築
・医療機関との連携

- ・在宅医療、福祉の充実
- ・医療・福祉・生活の
総合相談窓口



移住促進

～地域での消費が増え、にぎわいを創出～

知る・学ぶ

短期滞在

中長期滞在

移住

- ・勉強会
- ・相談会
- ・ホームページ
- ・SNS
- ・ダイレクトメール

- ・お試しツアー
- ・住まいの見学
- ・利便施設の把握
- ・交通状況の理解
- ・地域との交流会
- ・地域へのイベント参加

- ・お試し住宅
- ・生活を体験

- ・サービス付き高齢者向け住宅
- ・空き家バンク
- ・移住者交流会
- ・働く場
- ・活動の場

- ・銀座NAGANO
- ・ふるさと回帰支援センター
- ・移住交流ガーデン

- ・地域住民
- ・地域団体
- ・近隣施設

- ・近隣商店
- ・交通機関

- ・地域企業
- ・宅建協会



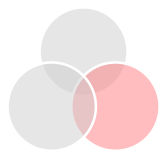
◀ 展示
(生涯活躍のまち移住促進センター)

東京での情報発信



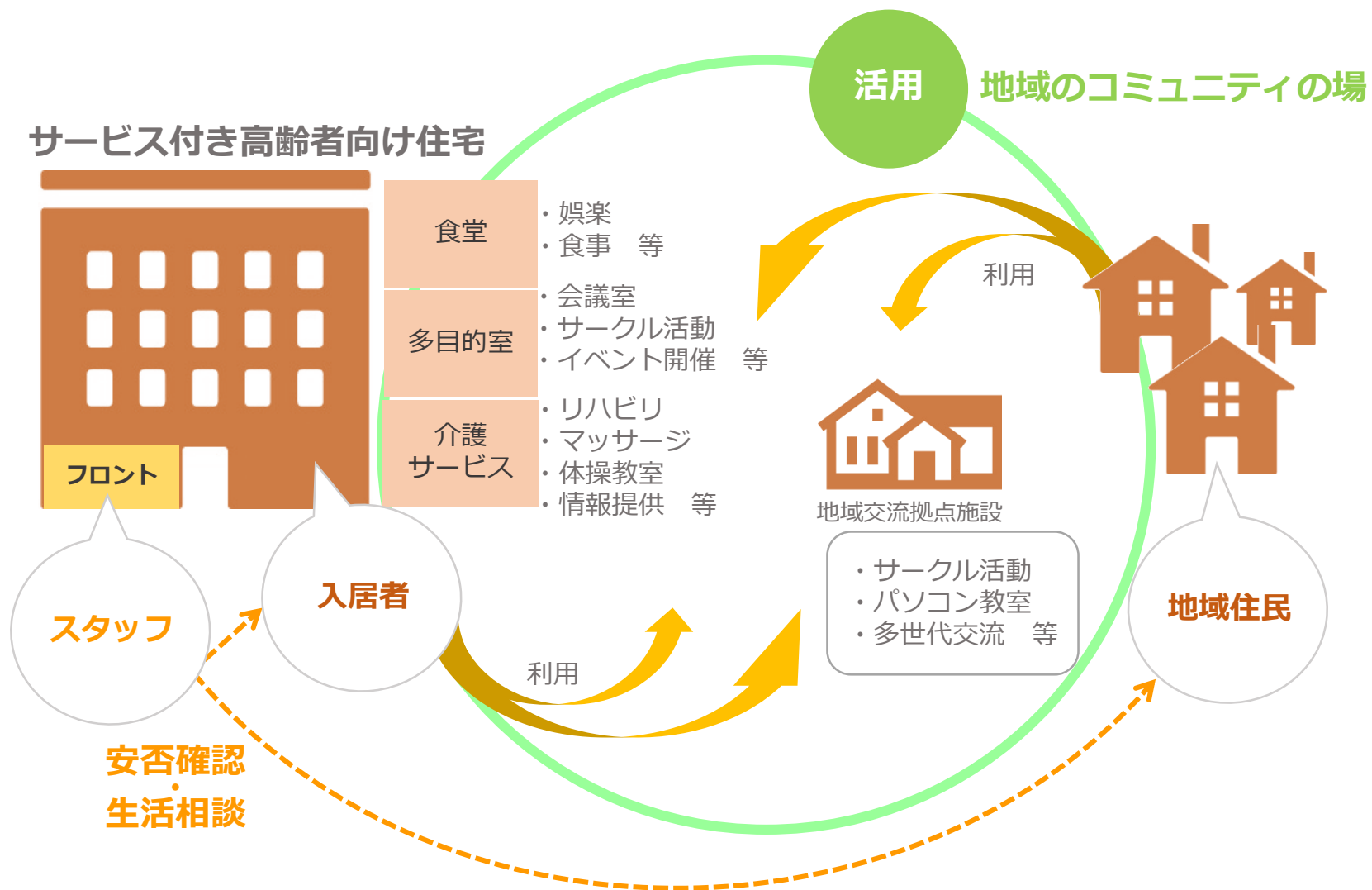
◀ 相談室
(生涯活躍のまち移住促進センター)

移住希望者の
相談対応・ニーズ調査

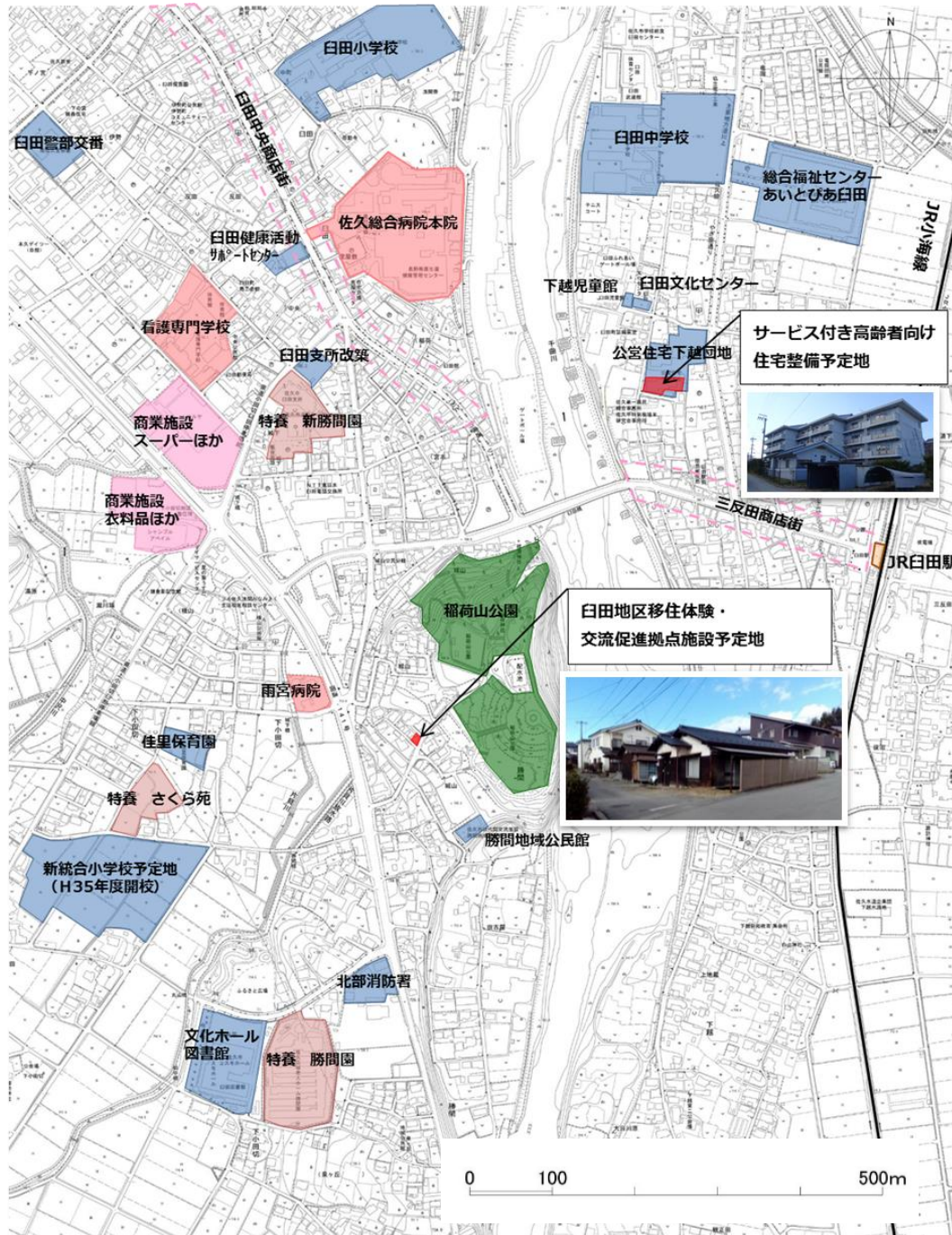


住まいづくり ～地域の活動場の増加、利用できるサービスの増加～

- ・既存ストック、空き家の活用による資源を活かした住まいづくり
- ・サービス付き高齢者向け住宅のフロントスタッフが毎日の安否確認と生活相談
- ・フロントサービスは近隣住民へのサービス提供が可能に
- ・サービス付き高齢者向け住宅と併設した多目的室、食堂、介護サービスは近隣住民も利用可



臼田市街地図



サービス付き高齢者向け住宅とは (国交省・厚労省)

サービス付き高齢者向け住宅とは、国土交通省・厚生労働省が所管する「高齢者住まい法」に基づいた高齢者単身・夫婦世帯が安心して居住できる賃貸等の住まいのことです。

整備のポイント

1. 安心できる見守りサービス (ケアの専門家)
 - ・安否確認サービス
 - ・生活相談サービス
2. 高齢者にふさわしいハード
 - ・バリアフリー構造
 - ・一定の面積、設備
3. 交流拠点
 - ・地域交流
 - ・多世代交流

安心

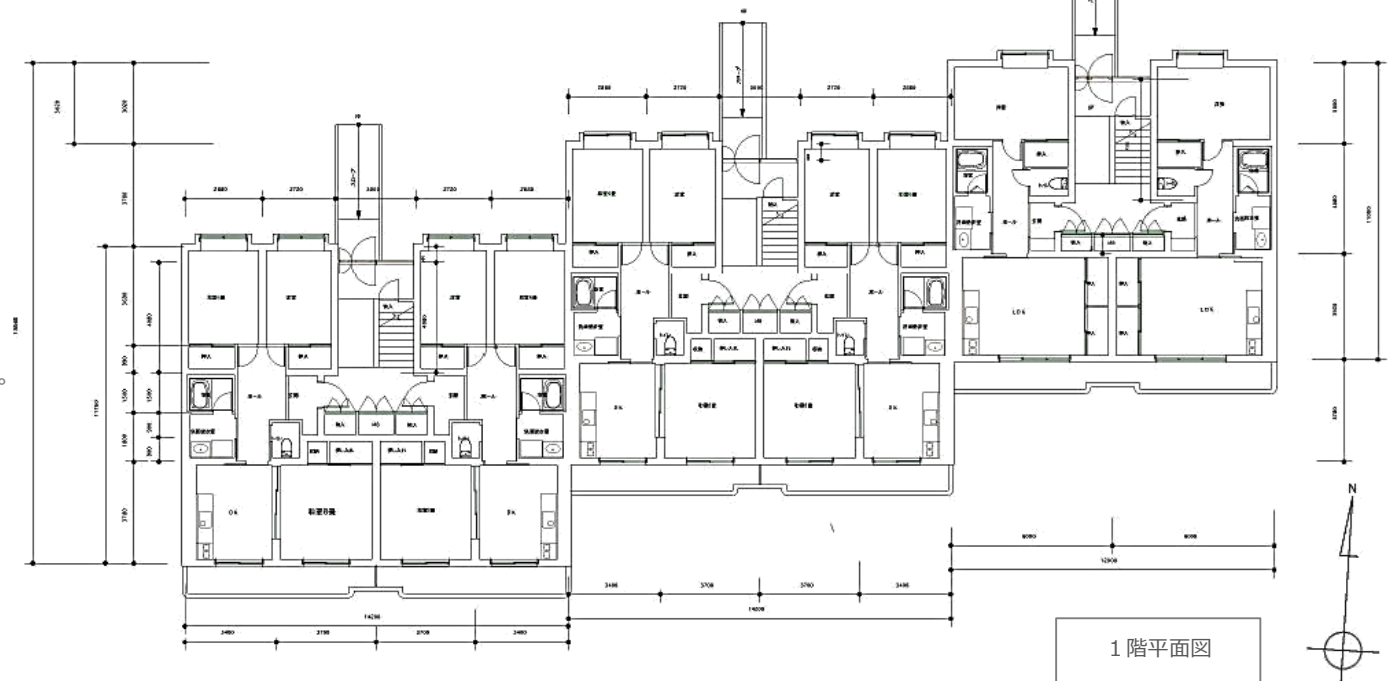


危険や不便が少ないハード面の安心、
 高齢者だからこそ必要なサービスを充実させたソフト面の安心、
 さらに地方公共団体が登録、指導・監督を行うという安心、
 このように多くの「安心」を備えていることが
 「サービス付き高齢者向け住宅」の特徴です。

サービス付き高齢者向け住宅

特定公共賃貸住宅 下越団地B棟

- 工事場所：佐久市下越216番地1
- 建築年度：平成7年度
- 構造：RC造 地上4階建
- 戸数：24戸
- 占有面積：3DK 71.67㎡ (16戸)
1LDK 54.39㎡ (8戸)
- 家賃：56,000円 (3DK)
43,000円 (1LDK)
- 入居状況：6世帯 (H28.4.7現在)

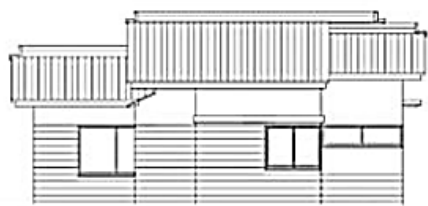


実施予定事業

下越団地B棟の空き室をお試し居住住宅として活用します。
また、将来的に用途廃止しサ高住としてリノベーションを行います。(平成31年度オープン予定)
改修にあたり入居者、A棟居住者、周辺住民との共用スペースを整備し、地域住民との多世代交流の場として活用します。

お試し居住住宅

- 工事場所：佐久市勝間27番地4
- 建築年度：昭和38年
- 構造：木造・瓦葺・平屋建
- 床面積：46.1㎡



西側立面図

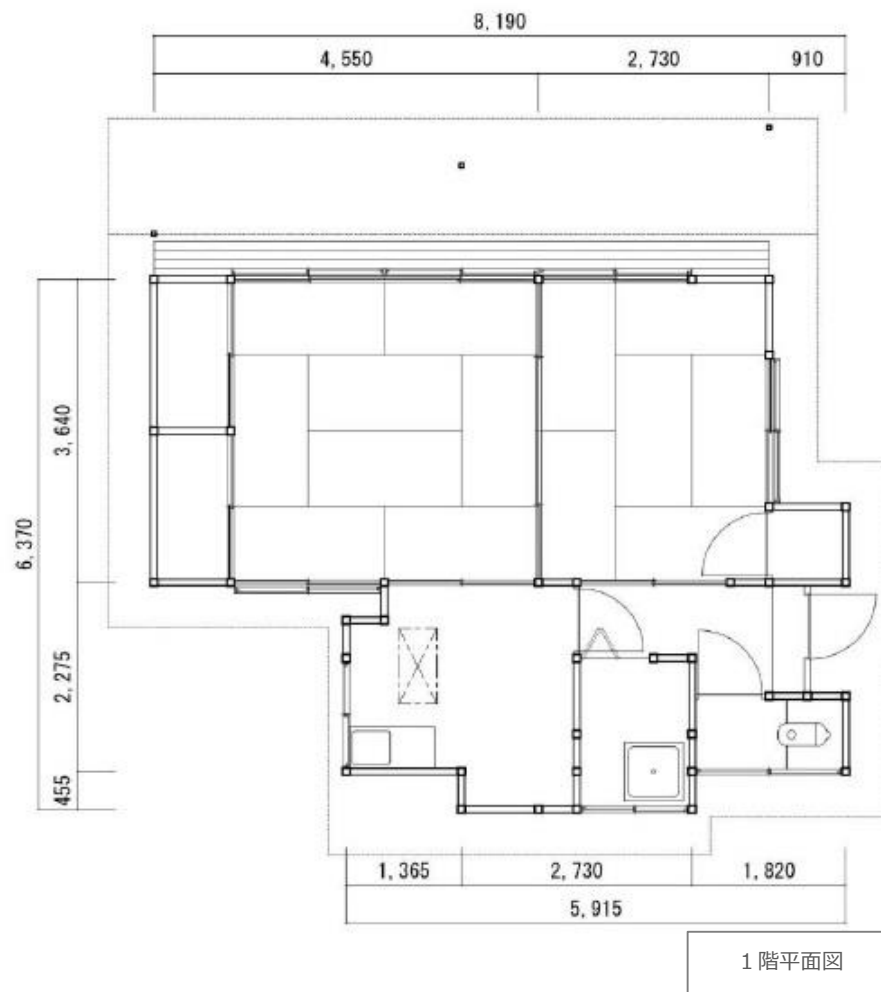


南側立面図

実施予定事業

当該施設の有効活用と地域コミュニティの再興を図るため、また将来的に移住者がスムーズに地域に溶け込めるよう、お試し居住として使われない毎月第1・第3日曜日に地域の多世代交流の場として開放し、「楽しい居場所」として活用する予定です。運営については地域住民が主体的に行うことを想定しています。

この地域に開かれた「楽しい居場所」は多世代が気軽に集い教学や語りを通して地域の支え合いの仕組みを構築するものです。移住者にとってのより良いコミュニティづくり、移住者の生活支援を含めた担い手を地域で養成・発掘していく役割を果たすものです。さらに、介護保険制度改正で平成29年4月までに「要支援者」の訪問・通所サービスが市による「介護予防・日常生活支援総合事業」に移行する中、住民主体のサービス提供の拠点としての役割を果たすものとしても想定しています。



1階平面図

第5回 佐久市臼田地区生涯活躍のまち事業化検討委員会 資料

経 過

開催日	会議名等	内容等
H27.11.15	第1回 佐久市臼田生涯活躍のまち事業化検討委員会	委員委嘱、市長挨拶、自己紹介、佐久市CCRC構想について、「那須100年コミュニティ」の紹介、意見交換等
H28.2.29	第2回 佐久市臼田生涯活躍のまち事業化検討委員会	議題：佐久市臼田地区CCRC事業化基本計画(案)について
H28.3.18	第3回 佐久市臼田生涯活躍のまち事業化検討委員会	議題：佐久市臼田地区CCRC事業化基本計画(案)について
H28.9.9	第4回 佐久市臼田生涯活躍のまち事業化検討委員会	議題：佐久市臼田地区CCRC事業化に向けて
H28.11.18	サービス付き高齢者向け住宅「ゆいま～る多摩平」「ゆいま～る高島平」 現地視察	対象：検討委員会、担い手会議の委員（参加者9名）

開催日	会議名等	内容等
H27.12.18	臼田地区住民説明会「市の構想について」	
H28.2.25	第1回 担い手会議	議題：佐久市への移住者の活用方法について
H28.3.9	第2回 担い手会議	議題：市民としての受け入れ態勢について 生涯活躍のまち事業化に向けて
H28.3.16	第3回 担い手会議	
H28.9.13	臼田地区住民説明会「臼田地区事業化基本計画について」	
H28.11.2	第1回 生涯活躍のまちをつくる会（生涯活躍のまち移住促進センター）	議題：住まいについて
H28.11.12 -11.13	第1回 佐久市お試しツアー	臼田地区現地見学・体験ツアー 対象：佐久市に移住定住を希望する首都圏在住の方 (参加者：東京都3名、千葉1名の計4名)
H28.12.3	第2回 生涯活躍のまちをつくる会（生涯活躍のまち移住促進センター）	議題：生活、環境について
H29.1.21	第3回 生涯活躍のまちをつくる会（生涯活躍のまち移住促進センター）	議題：共用スペースの使い方について